

令和6年度 瀬戸将棋文化振興協会 事業計画 (令和6年7月1日～令和7年6月30日)

1 普及啓発事業

将棋文化の継承と瀬戸市における普及啓発を図る。

公益社団法人日本将棋連盟の支部としての情報発信

将棋連盟全般の動き、全国支部将棋対抗戦・名人戦など、支部としての参加及び情報発信の充実を図る。

子どもたちを中心に、市民の将棋に対する意識の向上、将棋に親しむ人の拡大を図る。

①夏休み瀬戸将棋グランプリ2024

- ・開催日時：令和6年8月18日（日）午前10：00～
- ・第6回目にあたる「こども将棋大会」として瀬戸市文化センター文化交流館で開催予定
- ・小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生、中学生の4クラス、募集定員は各クラス32名

②第22回 詰将棋解答選手権 瀬戸会場

- ・開催日時：令和7年4月（詳細未定）
 - ・全国的に開催される詰将棋解答選手権の瀬戸会場として、令和6年4月に開催した第21回に引き続き開催予定
 - ・「初級戦」「一般戦」で開催
- ※瀬戸将棋愛好会との連携事業

2 人材育成事業

将棋文化の普及・技術の向上を図るとともに、将棋を通じた交流や情報交換によって人材育成を図る。

①こども将棋大会における将棋指導

- ・毎年開催する「瀬戸こども将棋大会」にプロ棋士を招聘し、参加者を対象とした指導対局を実施する。
- ・指導対局として、東海地方出身棋士を中心に、棋士5名参加予定
木村一基九段、柵木幹太四段、竹内貴浩指導棋士四段、室田伊緒女流二段、中澤沙耶女流二段

②市内小中学校における将棋指導

- ・市内小中学校と連携し夏休みの教育活動等にプロ棋士等を派遣し将棋指導を実施する。

※日本将棋連盟の支部として、連盟の棋士派遣制度を活用

※確定分：7月24日（水）效範小学校において宮嶋健太四段が指導（渋江朔矢三段が同行）

3 広報・宣伝事業

協会ホームページ、広報せと等を活用し、瀬戸将棋文化振興協会、瀬戸市の将棋文化振興に係る情報を積極的に発信するなど、広報・宣伝活動の充実を図る。

①協会の活動、瀬戸市の将棋に関する取り組み、地元棋士に関する情報発信。

②将棋キャラクターの活用

- ・協会の活動や「将棋」に親しみを感じてもらい、将棋の普及啓発につなげるため、瀬戸市出身の漫画家である中島みるく氏により制作された将棋キャラクターである「瀬戸将太郎くん 瀬戸将子ちゃん」を積極的に活用する。

③瀬戸将棋タクシー企画

瀬戸自動車運送株式会社（マルセタクシー）との連携し、将棋キャラクターをラッピングした「瀬戸将棋タクシー」の運行により、将棋の普及啓発につなげる。（マルセタクシーにおいて2台目を企画中。）

4 地元棋士応援事業

瀬戸市にゆかりのあるプロ棋士の活躍を、市内を中心に広く知らせ、市民等による応援気運の醸成を図る。

・地元棋士の応援活動

地元棋士のタイトル戦などにおいて、応援活動を実施し、合わせて、お祝いのくす玉開きなどを実施することで、将棋文化の普及啓発につなげる。また、状況に応じて、瀬戸市が開催するパブリックビューイングに協力する。

・瀬戸市立図書館における将棋コーナー展示協力

瀬戸市立図書館には、地元棋士の活躍、瀬戸こども将棋大会に参加いただいた棋士の紹介などが展示されており、この展示の充実に協力する。

5 その他

・会員向け記念品の作成

記念イヤープレート2024年度の作成（予定）

※将棋キャラクターの活用

・出雲平田一式飾り保存会との連携事業（予定／調整中）

「平田一式飾り」は、江戸時代から続く出雲市の無形民俗文化財であり、瀬戸の陶磁器も多く使われてきたその手法は、長くせともの祭で披露されてきた「せともの人形」につながっているとされている。また、出雲市は「福間香奈女流五冠」の出身地でもあることから「将棋」を題材とした作品も制作されている。こうした経緯から、せともの祭において「将棋文化と瀬戸のやきもの文化」のコラボレーションとして平田一式飾り作品の展示等を実施しているもの。

・「瀬戸市」との連携

○平成28年（2016年）10月に藤井聡太竜王・名人が史上最年少でプロ棋士となり、これを契機に、地元である「瀬戸市」では、将棋に関する関心が高まっている。

○市では、平成30年（2018年）3月に「瀬戸市民栄誉賞」を授与し、令和5年（2023年）11月に「瀬戸市名誉市民」に推挙した。

○平成30年（2018年）からは、日本将棋連盟が主催する「(将棋文化振興自治体)全国将棋サミット」に参画している。

⇒こうした経緯の中、今後、更なる将棋文化の振興が図られるため、当協会として、連携を図る。

・瀬戸将棋愛好会との連携

詰将棋解答選手権をはじめ、瀬戸における将棋文化の普及啓発事業について、瀬戸将棋愛好会との連携を図る。

令和6年度瀬戸将棋文化振興協会収支予算書
(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

【収入】

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	備考
会費	3,541,000	3,378,000	正会員583名(一般321名、女性及び学生262名) 賛助会員70企業・団体(115口)(2024.6末)
負担金	1,500,000	1,500,000	文化振興財団負担金(瀬戸将棋グランプリ・事業運営等)
補助金	500,000	2,000,000	瀬戸信用金庫地域振興協力基金(瀬戸将棋グランプリ)
事業協賛金	1,000	100,000	企業協賛金
寄付金	1,000	1,000	一般寄付(個人会員からの寄附)
事業収入	171,000	128,000	瀬戸将棋グランプリ(こども将棋大会)、詰将棋解答選手権 参加料
雑収入	1,000	1,000	預金利息等
繰越金	1,646,845	1,684,373	前年度繰越金
合計	7,361,845	8,792,373	

【支出】

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	備考
謝礼	10,000	200,000	将棋指導等謝礼(学校棋士派遣等)
報償費	850,000	1,100,000	瀬戸将棋グランプリ参加記念品、会員記念品等
消耗品費	500,000	200,000	事務用消耗品
印刷製本費	100,000	200,000	PRチラシ・ポスター等
食糧費	50,000	50,000	賄費、お茶代等
手数料	400,000	400,000	HPレンタルサーバー代、応援幕作成等
備品費	30,000	100,000	備品等
通信運搬費	680,000	400,000	郵便・宅急料金、電報料金等
委託料	3,000,000	4,500,000	瀬戸将棋グランプリ、詰将棋解答選手権、せともの祭会場設 営等
負担金	1,600,000	1,493,000	日本将棋連盟支部会費、愛知県支部連合会会費、文化協会会 費、観光協会会費等
雑費	141,845	149,373	つり銭等
合計	7,361,845	8,792,373	